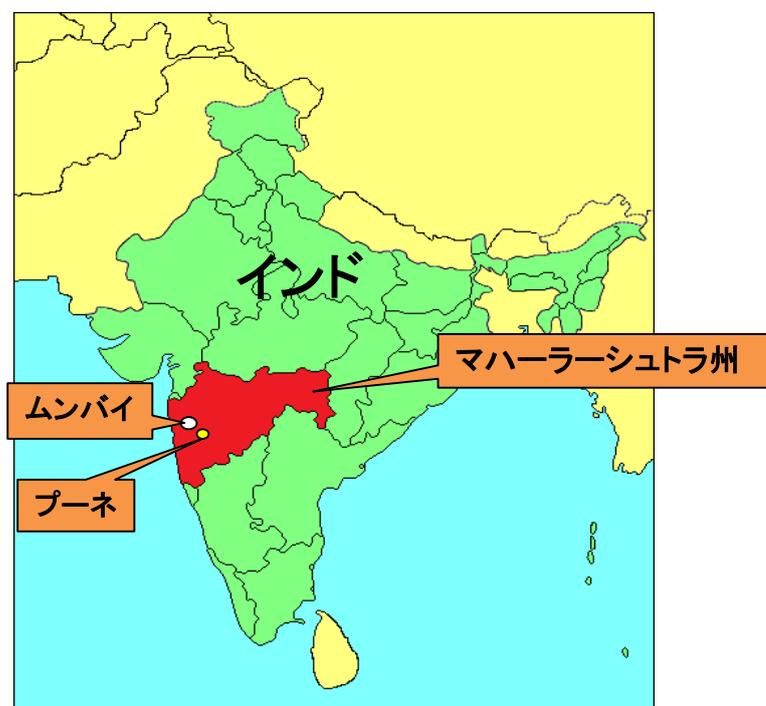


## インド、ムンバイ市でマラリアが流行

2011年4月6日 ProMED 情報(Times of India)



マハーラーシュトラ Maharashtra 州保健省の発表によると、2010年4月～2011年3月間のマラリア死亡患者が185名に達しました。これは、この7年間で最も多い死亡患者数です。首都ムンバイ Mumbai 市だけで死亡患者は137名です。2003～2004年間の同州における死亡患者は60～65名でした。プーネ Pune 地区では2010～2011年間の死亡患者はわずかに4名でした。また、同州のマラリア検査陽性例は、2010～2011年間は138,605件、2009年は85,435件、2008年は67,333件、2007年は67,850件と、ここ数年増加しています。ムンバイ市及び同州の他の地域での、建設工事の増加がマラリア媒介蚊の繁殖を促進していると考えられます。

なお、インド医師会プーネ地区会長の話によれば、保健省が発表しているマラリア、デング熱、チクングニア熱の報告数は氷山の一角に過ぎず、多くが保健省には報告されていないということです。

〔ProMED 調整者〕

以前指摘されたように、ムンバイ市では、建設現場以上にスラム街で感染の流行が持続していると考えられます。また、先月スウェーデンからの船員がマラリア予防内服をせずに、ムンバイ市で熱帯熱マラリアにより死亡したことや、死亡患者数が100名を超えたとの報告もあることから、商船の乗組員を含む旅行者に対して予防内服をすべきかどうか問題になっています。